

みんなくりポジトリ

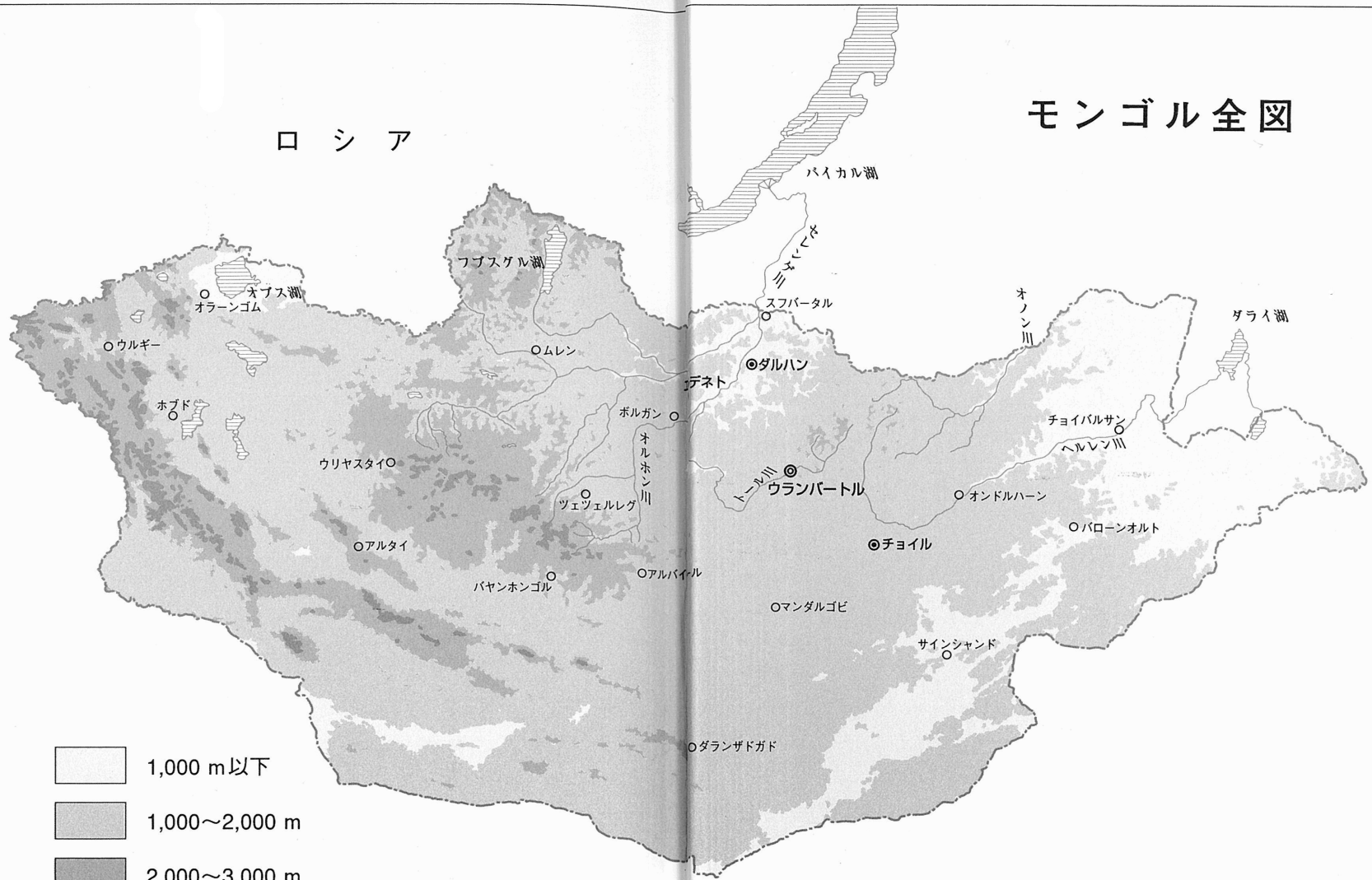
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

アジア読本モンゴル

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-02-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小長谷, 有紀 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/4582

ロシア

モンゴル全図



- 1,000 m以下
- 1,000~2,000 m
- 2,000~3,000 m
- 3,000 m以上

中国



暮らしがわかる

アジア読本

モンゴル

小長谷有紀 編

河出書房新社

いざない……………小長谷有紀 7

ふんぷん

草の海の白い港——遊牧生活の舞台……………小長谷有紀 12

白と赤がささえる草原の食卓——食文化……………石井智美 27

豊饒の季節と忍耐の季節——年中行事……………上村 明 36

移動と人生の節目——人の一生……………上村 明 52

ままならなさとは豊かさ——自然環境……………山崎正史 61

まなざし

遊牧世界の論理——遊牧……………小長谷有紀 70

清朝支配下のモンゴル——現代モンゴルへの歩み1	萩原 守	87
モンゴルの独立から現代まで——現代モンゴルへの歩み2	萩原 守	93
遺跡の宝庫、モンゴル——考古学	林 俊雄	106
パンモンゴリズムの現在——モンゴル人	二木博史	118
民主化への道のり——政治	松田忠徳	126

ゆやぶり

希望と不安のはざままで——現代若者文化	内田敦之	138
民主化が問うジャーナリズムの本質——新聞	松田忠徳	146
食品流通の光と影——物流	内田敦之	160
人間が少ない国の悩みと楽しみ——人口	前川 愛	168

きくらげ

白髪の力士、ナーダムに舞う——ナーダム	松田邦子	178
伝統音楽のゆくえ——音楽	鈴木秀明	186

『白い馬』と『天の馬』——フォークロア……………	藤井麻湖	202
文字の復活か、伝統の復活か——モンゴル文字……………	松川 節	210
観世音菩薩と活仏——モンゴル仏教……………	松川 節	217
「ボートの宗教」の復活——シヤマニズム……………	西村幹也	230
復権進む伝統医学——医療事情……………	前田壮二郎	238

たびだち

計画経済から市場経済へ——経済……………	松田忠徳	248
カシミア産業の再生と発展のために——産業開発……………	内田敦之	258
満天の星空の魅力——観光開発の現場から……………	秋山 修	266
援助の現場を歩く——援助……………	斎藤 實	273

★ささやき——インタビュー／訳…小長谷有紀		
音の世で歌うために生まれた私——ダムテインギーン・ノロブバンザド	20	
私たちはずっと反逆者といわれ、おさえつけられてきた——ドルゴル	46	
精神が疲れるあの病気は、どこへ行ったんだろうねえ——バヤンフー	80	
一人前の人になった私——センギーン・エルデネ	99	

学問を捨てたわ。フタをひきずったのよ、生きるために	アルター	154
私の人生は、モンゴルと日本の関係そのものよ	サロール	194
運命は迷っているか？	わが幼き日々	224
追憶	タンガティーン・ガルサン	282
最後のラクダの荷は重い、つていうから……	オトゴンバヤル	

★コラム

子どもの数	前川 愛	35
動物性食糧は豊かさの証明？	前川 愛	44
牧畜業の盛衰	松田忠徳	78
変革をうつしだす鏡	教育の再生	116
	二木博史	
風土病ベスト	小長谷有紀	125
援助から投資へ	ルハグヴァスレン	145
失業問題	前川 愛	166
新生モンゴル国のはやり言葉	小長谷有紀	175
文化英雄チンギス	二木博史	209
韓国の進出	内田教之	257
携帯電話の流行	内田教之	265

読書案内

年表	291
モンゴル関係団体・施設	293

索引

執筆者紹介

300 299

地図
テイク・スリー

●凡例

1、モンゴル国の行政区画は、二一の「アイマグ」とウランバートル特別市（首都）からなる。本書では「アイマグ」を「県」と表記する。各アイマグは、県庁の所在する特別市（口語ではこれもアイマグという）と、いくつかの「ソム」から構成される。

2、モンゴルでは、旧暦として伝統的なチベット暦による年月日の表記が使われており、民主化以降、特に生まれ年などを表記する際に西暦と併用されることが多くなっている。年は、六〇年で一巡りする干支えと（モンゴル語で「ジャラン」、チベット語で「ラプチュン」という）で表され、中国・日本・チベットの干支と一致するが、チベットとモンゴルでは、一〇二七年を起点として何番目の六〇年干支であるかをも表記するところが中国や日本と異なる。月は、四季をそれぞれ三つに分け、「初めの月」「中の月」「終わりの月」と表記する。これは、中国暦の「孟・仲・季」がモンゴルに伝わったもので、例えば正月（孟春）は「春の最初の月」にあたる。日は、月の満ち欠けに従って朔（新月）とともに一カ月が始まる。「大の月」は三〇日、「小の月」は二九日、一年は一二カ月で三五四日となり、不足した日数は六五カ月あたり二回の閏月を挿入することによって調整される。